

**問題1**

自然災害が多発する日本において、その被害を最小限に抑えるための「自助」、「共助」および「公助」の取り組みが重要と考えられており、土木・環境工学を志す人として、個人、グループおよび公共の視点から問題を把握・分析する能力を測る。防災に関する基礎的な用語の意味を考える能力、防災意識の変遷について社会的背景などから分析できる能力、自分の見解を積極的に説明できる表現力と文章力を問う問題である。

**問題2**

これまでと異なる社会的背景の中で、安定した社会基盤施設を創出していくための基本的素養を測ることを意図した出題である。様々な長さのブロックを適切に組み合わせ、美観的要素にも配慮した橋梁を作成させる。作成した橋から、公共構造物に求められる諸性能(機能性、景観性)についての認識を確認するとともに、意図した構造を成立させるための力学的な感性を測る。また作成した橋に含めた意図あるいは感覚的判断を文章として説明させることにより、自分の考えを他者に説明し、共有する能力を測る。